

人工環境専攻
博士課程前期・後期

個別相談のご案内

2024年9月
環境情報学府入試説明会

個別相談について

人工環境専攻では、入試や教育内容全般について、教育プログラム別に学務委員が相談を受け付けます。希望する方は**どうぞ気軽にメールで連絡ください**。なお、教育プログラムについては、次ページ以降のスライドを参照してください。

- **安全環境工学**：伊里 友一郎 izato-yuichiro-tkアットynu.ac.jp
- **安全環境工学**：白石 俊彦 shiraishi-toshihiko-fdアットynu.ac.jp
- **環境学**：飯島 志行 iijima-motoyuki-jcアットynu.ac.jp
- **社会環境**：奥山 尚子 okuyama-naoko-rtアットynu.ac.jp

◆希望する研究室が決まっている場合は、研究室の教員に希望研究テーマや受け入れの可能性などについて直接相談してください。

◆人工環境専攻の教員紹介はこちらを参照してください。

https://www.eis.ynu.ac.jp/academic/member/educ_2018/artificial/

◆**社会人学生**や**博士後期課程**に関する相談も受け付けております。

専攻と教育プログラム

専攻：人工環境専攻（、自然環境専攻、情報環境専攻）

教育プログラムと取得可能学位：

- 安全環境工学プログラム → 修士(工学) 博士(工学)
- 環境学プログラム → 修士(環境学) 博士(環境学)
- 社会環境プログラム → 修士(学術) 博士(学術)

教育プログラムとは：

- 取得する学位の種類に応じて設定された科目履修の仕方
- 履修可能な授業科目群と修了に必要な単位が定められている
- それぞれの学位を取得した人材がどのような専門性を持ち、どのような知識と技能を修得しているのかを明確に示すために設定

- 安全環境工学プログラム（修士（工学），博士（工学））

都市や産業プラント、インフラ、エネルギーステーションなどの設計や災害時の対策や避難経路の確保や速やかな復旧など、安全工学的な視点で安心・安全を検討できる知識と技能を備えた人材を育成する。

- 環境学プログラム（修士（環境学），博士（環境学））

安全工学的な技術を社会実装するために、これらの技術に関する十分な知識に基づいてリスクを評価し、法制化や政策立案へとつなげていくことのできる人材を育成する。

- 社会環境プログラム（修士（学術），博士（学術））

人工環境の中で暮らす人々の営みに注目して、企業経営や自治体の在り方、福祉や健康にも配慮して、安心・安全を考える人材を育成する